

3年生に応援をお願いします！

1月23日に各私立高校専願・奨学・特待等の入試が行なわれ、68名が受験に挑み、3年生にとっては、受験本番を迎えています。また、その合否発表が26日から行われました。

合格した人には、「おめでとう」の言葉とともに、これから卒業するまでに行ってほしいことを伝えています。友達とともに卒業をしていくこと。すなわち、最後の最後まで、友達として応援し助け合うことに頑張してほしいということ。そして、入学金をはじめ高校に入学するまでに、とても多額のお金があること。これはただお金だけではなく、その裏に隠された、お父さん、お母さんの愛情が込められていることを知ってほしいということです。必ず感謝の気持ちを込めて報告するとともに、「有り難うございます」の一言がほしいということ。さらには、多くの先生方の指導があってこそ、目標が達成できたということ。

残念ながら不合格となった人には、この悔しさを、次の目標に対して早く気持ちを切り替え頑張る、強い精神力を持つようにと伝えています。自分の人生を切り開くためには、自分の力で行うしかないので。もう一度、目標達成のために初心にもどり頑張ってください。苦しいのは自分一人だけではありません。今はみんな苦しいのです。そして友達が、あなたのために応援しています。先生方も、あなたを応援しています。

保護者様におかれましても、お子様は受験結果に一喜一憂することと思いますので、お子様のこれからの生活指導及び精神的な支えの方をよろしく願いいたします。



ドキドキ！ ウガンダの子どもたちとの交流会！

1月30日に、1年生とウガンダの子どもたちとの交流会をしました。(テレビでの放映と新聞にも掲載されました)ウガンダの子どもたちは、内戦やエイズで親を亡くし、ワトト村で一緒に生活をしている子どもたちです。歌やパフォーマンスを通して、アフリカの事実を伝え、世界中に夢や希望を、そして感動を伝えるために、公演活動をしています。同日の夜、益城文化会館での公演があるため、今回、木山中学校で交流会を行うこととなりました。

私たちには想像もできないほど、心に深い傷を受けたウガンダの子どもたちですが、彼らのパフォーマンスから、明るく生活するために、さらに一歩前に踏み出さないといけないという「勇気」と「エネルギー」をもらえました。公演の後には、みんなで輪になってゲームをしました。最後に、木山中学校から、カードゲーム、ハンドスピナー、けん玉、書道の紹介をしたり、一緒にゆったり楽しい交流会となりました。この出会いと感動を大切にしてほしいと思います。

【けん玉での交流の様子】



たくさん話をしてください！

1月になって学校では、「発表キャンペーン」、「調理場の方へ感謝の手紙を書こう」、「給食残滓調査」、「窓開けキャンペーン」などのコンクールやキャンペーンを生徒会と協力して行っています。「窓開けキャンペーン」はインフルエンザの流行をおさえるのに大変有効でした。これらを話題にして、また、日常の学校生活の事なども、たくさん話を聞いてください。ある調査では、親とたくさん話す人は学力が伸びる傾向にあるという結果が出ています。思春期真っただ中の子どもたちです。心が揺れ動き不安になることもあると思います。お子様に気になることがありましたら、遠慮なく学校へお知らせください。

今年の漢字に思いを込めて！

新しい年になり、今年の1年を思いえがき、目標を立てられた方も多と思います。順調に達成できているでしょうか？

私は2つの理由で、今年1年間「心」という漢字に思いを込めて、生活を充実させていきたいと思いました。一つ目は、心を込めて学校の行事や日常の生活に取り組んでいきたいと思ったからです。何気なく取り組むのではなく、何を身につけさせたいのか、何を身につけたいのかをしっかりと心に置いて一日一日を大切にしていきたいと思います。二つ目は、出合いを大切にしたいと思ったからです。これからも多くの出合いがあると思います。「一期一会」の心をもって、心が通うお付き合いができればと思います。